

海津木苑運営委員会（令和元年度 12 月期）

会議録

1. 日 時： 令和元年 12 月 23 日（月） 15 時 00 分 開会
2. 場 所： 古賀市海津木苑 会議室

3. 出席委員（12 名）

委員長	結城 弘明	副委員長	清原 留夫
委員	智原 和子	委員	内場 恭子
委員	清原 秀則	委員	清原 透
委員	三好 収	委員	安武 正一
委員	森 里子	委員	横田 昌宏
委員	河北 吉昭	委員	星野 孝一

4. 欠席委員（簗原委員、内平委員）

5. 傍聴者数（1 名）

6. 事務局出席職員職氏名

市民部長	清水 万里子	環境課長	智原 英樹
海津木苑長	吉田 義昭	海津木苑係長	国本 勝喜
海津木苑職員	古賀 仁尚		

概要

15 : 00 開会

1. 古賀市あいさつ
2. 委員長あいさつ
3. 協議事項及び報告

- 1) 会議録について（事務局より説明）

- (1) 10 月期運営委員会会議録

資料.1

- (2) 12 月期運営委員会会議録署名

【質疑・意見】 なし

- 2) 海津木苑運営に関する実施状況について 資料.2（事務局より説明）

・令和元年 10 月及び 11 月の処理状況について

[質疑]

委員 : 清掃工場への汚泥搬出量とし渣搬出量の10月と11月の搬出量に差があるがなぜか、季節的なものがあるのか。

[答弁]

海津木苑長 : 清掃工場への汚泥及びし渣搬出量合計の差は汚泥搬出量の違いである。

10月期については汚泥濃度を下げるために、汚泥の引抜き調整を行い、脱水運転の回数が多く搬出汚泥量が増加した。

11月期については処理槽が適正な汚泥濃度であったため、脱水運転の回数が減少したことより、汚泥搬出量が減少した。

[質疑]

委員 : 搬入量は変わらないのに、なぜこのように差が出てくるのか、汚泥の中身の状態だと思うが、そうすると11月が基準で一番適切な状態であれば、このような状況になるのが目標になると思うと、ここを基準に考えるとしかならない。

[答弁]

海津木苑長 : し尿と浄化槽汚泥が毎日搬入されているが、搬入されるし尿及び浄化槽汚泥の濃度も関係している。

濃度が薄ければ槽内の汚泥濃度も上がらないが、逆に濃度が高ければ槽内の濃度も上がり、その分の処理を行う必要があることから搬入されるし尿、浄化槽汚泥の性状も関係がある。

[質疑]

委員 : 搬入量は11月現在の合計搬入量が7325.1 t、昨年11月までで7288 tであるが、水道の使用量に関しては今期が2380.9 m³、月平均が287.6 m³、前年対比で

前年が227.1 m³であり、今年度は月あたり50 m³から100 m³ほど使用量が増加している状況が見受けられるが、搬入量の増減に対して水道使用量が増加したのはなぜか。

[答弁]

海津木苑長 : 搬入量が若干増加しているのは、小野北部蘇水センターが竣工し米多比、薦野地区の接続がされたことと、接続を行う為に全量引抜きを行うことから昨年度よりも増加している。

水道使用量については、夏場の冷却装置の使用もあるが、脱臭設備の洗浄。また、貯留槽で若干泡が発生しており水でたたいている関係もあり水道の使用量が増加している。

[質疑]

委員 : 10月単月では昨年度が206 m³に対して今季が329 kℓであり約120 kℓ位多く、原因は暑さや気温が起因なのか。

[答弁]

海津木苑 : 暑さも当然関係するが、浄化槽汚泥の搬入が多くなるとスカムの発生が高くな

業務主査 傾向にある。

生し尿よりも浄化槽汚泥の搬入が増加したことに伴いスカム等が発生している。

3) 令和元年度臭気測定(第2回)及び令和元年度騒音・振動測定結果について
・測定実施日(令和元年11月20日(水)) 資料.3-1 ~ 資料.3-4
(事務局より説明)

[質疑・意見] なし

4) 海津木苑施設等啓発について 資料.4
(事務局より説明)

[質疑・意見] なし

5) 次期し尿処理施設について
・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ(第20回)11月21日(木)
・古賀市次期し尿処理施設に関する事前打ち合わせ(第21回)12月20日(金)
(事務局より説明)

[質疑・意見] なし

4. その他

[質疑]

副委員長 : 今までは次回の啓発のスケジュールが記載してあったが今回は記載がないがなぜか。

新宮町は委託を行い久留米で処理を行っており、古賀市はし尿が減少傾向にあり新宮町のし尿を受け入れてはとの話をこの場でも行ったが、なかなか出来ないという事であった。今後新宮町から処理委託の打診が無いとは思わない。

今すぐは難しい気がするが、先々古賀市と福津市のし尿が減少するか分からないが、新宮町にも打診してみてもいいか。

今すぐの話ではなく10年、20年後の話であり、一つの手ではないか。

[答弁]

環境課長 : 今後の啓発の記載がないことについては、今年度予定していた施設見学は全て終了しており、今後の予定が入っていない。

来年度の取組の準備を行いたい。

[質疑]

副委員長 : 先ほどから私が申し上げるのは、現在、新宮町の小学校が海津木苑に見学に来ており、新宮北小学校だけが見学に来ているのか、新宮小学校や、新宮東小学校は見学に来ていないのか。

[答弁]

海津木苑長 : 海津木苑に施設見学に来ているのは新宮東小学校だけである。新しくできた新宮北小学校については、海津木苑職員がゲストティチャーとして行っているが見学には来ていない。

[意見]

委員 : 捕捉になるが、新宮町受入れの話は地元協議のなかで随分前から出ており、将来構想はここ何年かに始まったことではなく、受入れについて検討してはどうかと議論していた。

企業が行うのであれば押していくのだろうが、過去に過剰な受入れで公害を出した経緯もあり、受入れには余力を残して検討をいただくように地元協議では発信していた。

新宮町もなかなか難しい面もあるということである。

福津市との広域処理の認可が出たというが、将来的には考えていかなければならない部分である。

また、このことと啓発がごちゃ混ぜになっている気がするが、啓発は啓発活動で、以前から広域的に可能な範囲で活動を行っていかうと話している。今回、次期し尿処理施設の地元協議のなかでも、一生懸命やりすぎて、地元としては内容が行き届いていないのではないかという話と、海津木苑職員が過剰に啓発を行っているから運営がおろそかになってはいけないという意見が出ている。

これに対して人権センターと連携を取り、サポート体制が出来ないか、広域的に人権啓発は福津市、新宮町の全小学校に広げて行ってほしいし気持ちはある。

地元からそのような声が出ているので、運営と人権啓発のバランスを考えながら今後も行っていきたい。

15時55分 閉会

※ 次回の運営委員会は、2月20（木）を予定している。

以上

この会議録が正確であることを証明するため会議録署名人次に署名捺印する。

令和2年 月 日

委員長

印

委員長の指名する
出席委員

印